

日本学生科学賞入選者2名のコメントです！

第313号で概要を報告し、第314号で新聞記事を掲載した、日本学生科学賞入選を果たした2名が、並木ドリームにコメントを寄せてくれましたので、その全文を掲載します。周りの方々への感謝の気持ちが綴られています。素晴らしいことです(^_^)！

小野寺理紗さんのコメント

今回、5年間の研究の集大成を中央審査で発表できたこと、とてもうれしく思います。発表では楽しく、自信を持って研究の成果の報告ができました。

私は並木中等教育学校に入学して以来5年間「地衣類」の分布やその種類、さらに成長度合いから、樹幹上の微環境を「見える化」するための研究を続けてきました。「地衣類」は「相利共生」の形をとっているとてもおもしろい生物です。その地衣類が着生している様々な樹木について温度や照度、大気汚染物質等の測定を行い、長期にわたって分析をしました。寒い日でも一本一本、地衣類の着生の調査を行うのはとても苦労しました。また、5年間続けてきた調査を1つの論文やポスターにまとめることは大変でした。

もちろん、本研究を長期にわたり続けてこられたのはサポートや応援をしてくれた先生方、同級生、そして保護者のおかげだと思っています。特に大村先生には1年次の時から熱心なご指導をいただき、常に支えてくださりました。両親にも調査の手伝いや研究内容の相談などにものってくれ、頑張ることができました。

5年間にわたる研究で、苦労したことも多々ありましたが、多くの人に支えられながら楽しんで続けることができました。中央審査では入選一等という結果に終わりましたが、自分でも、ベストを尽くすことができました。応援ありがとうございました。

市川尚人さんのコメント

私が4歳の時に、研究所でカイコをもらったことがカイコとの初めての出会いです。それから、毎年夏はカイコを飼育することが恒例行事になりました。10年以上もの付き合いをしているカイコは、もはや私の中では幼馴染みのような存在です。そのカイコで、今回、名誉ある賞をもらうことができて光栄に思います。

入等することができたのは、科学研究部の仲間や先生方の協力と、一度経験した最終中央審査のおかげであると思っています。昨年まで私はカイコの孵化と羽化だけに注目していました。同様に今年も孵化と羽化の期間だけ光を照射するつもりでした。しかし、いざ孵化まで育てると、赤色光で育てたカイコが明らかに大きかったり、青色光で育てたカイコが特殊な行動をとったり、光の波長の違いで差が生まれることに気づきました。

長年研究を続けたからこそ、このような現象を発見することができたと思っています。そして、本研究ではカイコを飼育するためだけに生物室の温度を一定に保つよう調節していただくなど、学校が全面的に協力してくださいました。このような協力があり、研究内容が充実したと思っています。今後も研究に全力を注いでいこうと思っています。

